

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1】

授業作り	重 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を活用し、個別最適化を推進する授業づくり。</li> <li>・児童の実態に応じた教材づくり。</li> <li>・見通しをもって、粘り強く取り組む学習過程の工夫。</li> </ul>
環境作り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習・生活の規律の徹底。</li> <li>・学びのユニバーサルデザインを生かした授業づくり。</li> </ul>

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを教師や友達に積極的に伝えようとする児童が多い。</li> <li>・話の内容を落とさず、最後まで聞く力をつける必要がある。</li> <li>・ひらがな、かたかな、漢字を正しく書くことができるよう、繰り返し練習する必要がある。</li> <li>・5、10など数の構成を理解し、計算できる力を付ける必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①一人一人の学習を的確に把握するための、毎時間の机間指導や個別の声掛け</li> <li>②タブレット端末、デジタルドリルの活用</li> <li>③ノートの活用、きめ細やかなノート指導</li> <li>④具体物の操作を取り入れた学習</li> <li>⑤読書推進</li> </ul>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を挙げて発言する児童が多く、授業に意欲的に参加している。家庭学習の定着が必要である。</li> <li>・ひらがな、かたかな、漢字を正しく書くことができるよう、繰り返し練習することが必要である。また、拗音、促音などを正しく使うことができるよう、書いたり、読んだりする活動が必要である。</li> <li>・正確に計算する力を身に付けると共に、文章問題への取組への力を付ける必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①一人一人の学習を的確に把握するための、毎時間の机間指導や個別の声掛け</li> <li>②タブレット端末、デジタルドリルの活用</li> <li>③漢字小テストの実施</li> <li>④ノートの活用、きめ細やかなノート指導</li> <li>⑤具体物の操作を取り入れた学習</li> <li>⑥読書推進</li> </ul>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の正しい筆順の理解や、正しく書く力を身に付ける必要がある。</li> <li>・算数では、図形や単位換算を苦手とする児童が多い。また、見直しをせずケアレスミスをすることがあり、正確に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を挙げて発言する児童は多いが発言内容がまとまらずに話す児童が多い。各教科で自分の考えや学習感想など、書く時間を多く設定していくことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①一人一人の学習を的確に把握するための、毎時間の机間指導や個別の声掛け</li> <li>②漢字小テストの実施</li> <li>③計算ドリル・デジタルドリルの活用</li> </ul>

	<p>答える力を身に付ける必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算問題は積極的に取り組む児童が多い。見直しすることを習慣化させる。</li> <li>・家庭学習を習慣化させ、進んで家庭学習を提出できるようにする。</li> </ul>	<p>④毎時間自分の考えを記述する</p>
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の知識を増やしたり、漢字を正しく書く力を身に付けたりすることが必要である。</li> <li>・書く領域に苦手意識をもつ児童が多いため、自分の考えを表現する力を身に付けることが必要である。</li> <li>・既習事項を活用する力の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を挙げて発言する児童は多い。学習意欲を継続して高めていく。</li> <li>・家庭学習を習慣化させ、進んで家庭学習を提出できるようにする。</li> <li>・自分の考えや思いを表現することが苦手である。話したり書いたりする機会を設け、表現力を身に付ける必要がある。</li> </ul>	<p>①デジタルドリルの活用</p> <p>②毎週の漢字小テストの実施</p> <p>③毎時間自分の考えを記述する</p> <p>④毎時間学習した内容を自分の言葉でまとめる</p> <p>⑤基礎的な計算の日々の取り組み</p> <p>⑥既習事項と単元とのつながりを意識した授業展開</p> <p>⑦友達の考えをモデル化する</p>
5 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語では基礎知識に差があり、漢字の読み書きや文章読解に課題が見られる。</li> <li>・算数では基礎的な計算や文章問題に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲はあるが、理解力に課題のある児童が多いため、授業の中での机間指導やノート提出等を通して児童を見取る必要がある。</li> <li>・家庭学習やデジタルドリルを活用することで、定期的に学習を振り返る機会を設ける。</li> </ul>	<p>①一人一人の学習を的確に把握するための、毎時間の机間指導や個別の声掛け</p> <p>②デジタルドリルの活用</p> <p>③毎時間の漢字ミニテストの実施</p> <p>④単元ごとの振り返りの言語化</p>
6 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語では、漢字の書き取りは比較できるが、語彙力不足により習った漢字を正しく使えないことが多い。</li> <li>・算数では、文章問題の立式を苦手とする児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学習だけでなく、各教科で自分の考えや学習感想など、書く時間を多く設定していくことが必要である。</li> <li>・算数は、家庭学習やデジタルドリルを活用して6年生の学習内容だけでなく、小学校でのすべての学習内容を復習していく必要がある。</li> </ul>	<p>①一人一人の学習を的確に把握するための、毎時間の机間指導や個別の声掛け</p> <p>②漢字小テスト毎週実施</p> <p>③計算ドリル・デジタルドリルの活用</p> <p>④作文を書く習慣化、振り返り</p>
特 別 支 援			